

100

つなぐ「奉仕の心」これからも

2024年向陽高等学校創立100周年



風に向かって

学校法人向陽学園

歴史編集室発行

TEL.0957(52)3210

100  
学園メモリー

## 「青春を心に！」 向陽学園理事長 烏山 英也

「青春は人生のある時期ではなく、心の持ち方を言う。薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな肢体ではなく、たくましい意志、ゆたかな想像力、炎(も)える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さをいう。」と言った人がいたが、西洋医学を教えるポンペもそれを習う長与専齋も、共に青春の中で生きた人だと言えよう。

今春、新校舎が落成し、30メートルの塔の先端にオランダのカロヨン(カカロン)を吊(さ)げた。そこからは美しく清新的なメロディーが流れる。そのカロヨンの響きが、学園で学ぶ生徒に希望と青春を与える事を願いたい。

(昭和62年5月向陽学園ニュース第4号より一部抜粋)

### 【保育科】

#### 「優しいところを持った 子どもたちに愛される 保育者になりたい」

##### 保育科1年 池田 聖華

入学してまだ4ヶ月くらいしかたっていないのですが、すごく長い時間だったように感じています。コロナウィルスの影響で学校に行く時間が減ってしまい少し悲しくも感じました。入学してからは、いろいろな事を学び体験しました。その中でも印象に残っているのが「ふれあい学習」と部活動です。「ふれあい学習」では、子どもとふれあいながら、その場に応じて臨機応変に対応しないとイケません。子どもの安全を第一に考えて行動しないとイケないのです。戸惑ったり、知らず知らずのうちに安全とはいえない行動もありました。だけどその時先生が丁寧に優しく解りやすく教えてくださるので、とても良い学習が出来ていると感じました。

部活動では、バスケット部に入部して最初大変でしたが、今は新チームになり県ベスト4を目指して頑張りたいです。また、先輩方が築き上げてきた伝統や礼儀作法、人としてあるべき姿などを受け継いで行きたいと思っています。入学してまだ日が浅いですが、今後学んだ事を生かして行きたいです。



7.11全日本バスケット選手権 県予選大会  
2回戦 優勝チーム(一般)に敗退

100

&lt;シリーズ&gt;2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

新任ですよろしく!

#### 池田 巴美 先生 (美容科、平成18年デザイン科美容コース第1回卒)

2024年に向陽高校は創立100周年を迎えますが、100年という長い年月に純粋に驚きを感じます。またその歩みを知る事でさらに重みを感じ、私自身がこの学校で学びを受けたことに誇らしい気持ちになります。

私が向陽高校で先生方に学んだことは美容の技術、知識はもちろんですが、1人1人の個性を尊重して下さり「人として」どうあるべきかというご指導もしていただきました。

しかし、その当時にすべて理解できていたのかと問われると自信はありません。実際に社会に出てから、本当に周りの人に支えられている事に気づき、自分が目指した美容の仕事が他の人の幸せや喜びを生み、その大小にかかわらず誰かの支えとなっていることを実感することができました。そして、その実感を得たことで自分の腕を磨こう、もっと沢山の人の幸せのお手伝いがしたいという気持ちを持てるようになりました。そして少しずつではありますが、向陽高校で学んだ「奉仕の心」の核心に近づけたように感じます。

現在、母校である向陽高校で指導する立場となり、美容の道を目指す生徒達へ指導を行う中で、本当に伝わっているのか不安になる事もありますが、向陽高校で学んだ事と生徒達の成長に支えられています。生徒1人1人が、自分の力を信じ生きていけるよう「奉仕の心」を培う学びを繋いでいきたいと思ひます。

KOYOファイト!

## 【福祉科】

「介護を必要としている人の 笑顔と幸せを支える 介護福祉士になりたい」

## 福祉科1年 山脇 彩華

私は、県外から向陽高校に入学して寮生活を送っています。最初は、友達もいない中不安がいっぱいで「家に帰りたい」「地元の友達に会いたい」など毎日思っていました。でも、今では学校にも慣れ友達も出来て徐々に楽しくなってきました。中学までは、掃除、洗濯、血洗いなどは家族がやっていました。寮生活では全て自分でしないと行けないので、改めて家族に対して感謝の気持ちが湧きました。

金銭の管理も自分で計画して管理しないと行けないので大変です。しかし、先輩方も優しく毎日楽しいです。しっかり福祉の勉強を頑張りたいと思います。



## 【調理科】

「こころをこめた料理で お客様に笑顔をお届け 調理師になりたい」

## 調理科1年 本田 美優

向陽高校は7つの専門学科があります。そのため校舎や教室が多く分散しています。最初は、少し廊下を歩くだけで自分の知らない教室に辿り着き、探検をしているようでワクワクしました。授業では中学とは違い、専門教科を幅広く学べます。毎週金曜日には、調理実習で日本料理の「江口成男」先生の指導を受け、その後自分達で実践します。仲間と協力して、時間内に、美味しい料理を作るのは難しいです。時々ミスしてしまう事もありますが、美味しい料理が作れた時は「成功した」という達成感が広がりがやがやあります。



私は寮生活をしていますが、しみじみ親のありがたさを感じています。今まで家では、家事を家族で分担してやっていたと思っていましたが、圧倒的に親が家事全般を担っていたんだと理解して、改めて親に対する感謝の気持ちを抱き、同時にもう少し家事を手伝うべきだったと後悔しています。

今現状では、コロナウイルスに感染する人が増えています。自分の命、家族の命、他人の命を守るため、コロナウイルス感染防止対策をしっかりと、一日でも早く今までの日常生活を送れるよう、今の自分にできる最大の予防対策を徹底したいと思います。そして、立派な一人前の調理師になれるよう努力します。



&lt;シリーズ&gt;2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向け

新任ですよろしく!

## 辻田 裕一郎 先生 (数学、バドミントン女子顧問)

2020年4月付けて向陽高等学校に赴任した数学科担当の辻田です。初めてのことが多くなれないことも多いですが、毎日明るい福祉科1年の生徒や、人数が少ない中頑張っている女子バドミントン部の生徒、日々の授業で接している生徒など、すべての生徒からエネルギーを頂き毎日元気に過ごしています。

4年後100周年を迎えるにあたって、イチロー選手がメジャー通算2000本安打を達成した後のインタビューで「2000本目を打った瞬間は感動したけど、その時考えたのは、次の打席が大事だということ。2001本目を打つことができたので、2002本目を打つことが次の目標になります。」とおっしゃっていたことを思い出しました。

今まで卒業された皆さんが1年1年を繋いでいただき、今年出会った生徒も100周年を迎える際には卒業していますが、社会に出て向陽高校を繋いできた一人ひとりとして頑張っていることでしょう。私もイチロー選手のように1年1年の1日1日を大事にして、100周年を迎えることができればよいなと思っています。そうして、100周年を無事迎え、101年、102年、・・・、200年、・・・、300年、・・・と続いていければ良いと思っています。200周年を迎えるころにはさすがに私はいないと思いますが、100周年を迎えた後も200周年を作る一人ひとりの生徒たちと向陽高校を繋いでいきたいと思っています。